

(令和6年4月1日)

第 679 号

あかね会ニュース

烏山病院患者家族会(通称:あかね会)

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山6-11-11

Tel/Fax:03-3307-7088

Eメール: akaneikai@rondo.ocn.ne.jp



あかね草

2024年2月例会報告

親なきあと PARTⅢ ～親が死ぬまでにできること～

精神保健福祉士・社会福祉士 長谷川千種氏

2024年2月9日(金)13:00～16:00

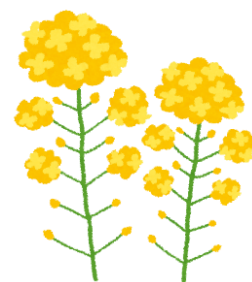


立春寒波に見舞われ降雪のあった週末の金曜日、久しぶりの勉強会が開催されました。2022年9月に開催した「成年後見制度」「家族信託」に続き今回は第3弾です。「親なきあとの問題について」はあかね会皆の共通した問題です。当日は病院集会室の予約が取れず、駅前の貸会議室にての開催でしたが約34名の方々が集まり、長谷川氏のお話に耳を傾けました。

1. 親が死ぬまでにできること

親亡きあとの前段階から色々な変化が起きてきている。今日一番お伝えしたいことは別表にあります。親の加齢とともに、親が要支援要介護になり今まで親がしていたことが出来なくなってくる。その結果、当事者も全部を親に頼めないこととなり、さてどうしよう?となってくる。親が亡くなって、どこに住むか、受診・服薬、生活の管理、財産の管理など誰がどのような支援をするのか考えていかなければならない。その他にも日中の活動、食事の手配、書類の対応、支援・介護その際には本人がどうしたいのか、何を支援してもらいたいのかをはっきりとしておくことが大切です。親なき後に備えて親が準備をしていたとしても、いざ親が亡くなって本人が知らないところで決められていて本人は「いや、自分はこうしたいんだ。」と言われれば振り出しに戻ってしまう。準備は必要だけれど本人の気持ち、本人に何が出来てどんな支援が欲しいのかという視点が需要です。親が元気な内に、本人も含めて関係機関の支援につながっておく。本人のこれからの人生を準備していくということが今日一番お伝えしたいことの骨格ではないかと思えます。

親と本人のかかわり方については、同居で丸抱えや別居でも濃厚な親の支援をしている方は、支援体制にゆだねて親の肩の荷を下ろすことがあっても良いかと思う。自分たちの家族がどのようなになっているのかを見直すことが出発点となる。親自身が自らの機能低下に気付かない、気付いていても行動できないで親の自己評価の遅れで支援者の介入をさまたげてしまうこともある。親なき後、支援を得ながら生活する・医療のみで生活する・ひっそりと一人で生活するという形があるが本人の生活が成り立てば生活のスタイルは多様で良いのではないか。でも、支援者が入るとよりよく生きられる手助けになってくれると思います。



「親の心身機能低下」と「親なき後」に本人が直面する課題

親の心身機能の低下や週末医療の場面で直面する課題

- ・親の介護体制の確立と関係機関への相談
- ・親と本人の経済・財産管理・家族として対応すべきことへの対処
- ・親子の役割の逆転：家族間の意思決定者の交代に伴う本人の役割遂行力
- ・親の終末医療に対する家族としての意思表示：延命処置の有無等

親なきあとすぐに直面する課題

- ・亡き親の対応
- ・当面の生活費の確保と管理
- ・家事全般（食事の手配・ごみ捨て・掃除・洗濯・買い物等）
- ・通院、服薬管理
- ・親族、行政、相談支援事業所等と相談する力

親なきあと半年程度で本人が直面する課題

- ・自宅の遺品整理
- ・相続関係手続
- ・相続財産の管理
- ・今後の生活費の確保と管理
- ・住居の確保

親なきあと本人が今後の人生で向き合う課題

- ・社会的役割、帰属集団（居心地の良い集団＝仕事・学校・デイケア・地域支援センター・ボランティア、趣味仲間等）
- ・住居の選定
- ・家事全般の対応
- ・就労支援の利用
- ・社会福祉サービスの利用援助と金銭管理等
- ・財産管理と身上保護、成年後見制度の利用



※質疑応答

質問:現在、親亀子亀状態です。障害年金を受給し、親の扶養に入っている。将来に向けて、資産を持たせていた方が良いのか。生保も考えている。

回答:色々な考え方があると思う。金を残すことも大事だが、散財せず必要なお金をうまく使えること、やりくりする力をつければ経済的には回っていく。現在の年金の管理が出来るようにしておくことも大切。今のうちに GH か単身で生活していく力と他人に相談する力を蓄えることを親がサポートしていき勿論、支援機関にも入ってもらおう。そして、本人には常に逃げ道だけは作っておく。

質問:親の元気な内に娘には GH に入ってもらいたいと思っているが、本人は入居する意思はない。親の気持ちと本人の意思が合わない。

回答:今の状況は、誰もかかわっていない状況からは超えている。本人のペースは、親の気持ちに沿っておらず本人と親の速度は異なる。環境が大きく変わった時に動くことがある。

(記:鹿間)

2月9日「親なきあと」例会アンケート



1. 本日の例会感想

- ・年老いてきてこの先の心配が明確になった。福祉サービスは親が倒れた時にチャンスが来ると言うのがわかって良かった。
- ・病院にも行けず、年金もなく、不安ばかりですが、くよくよ悩むのではなく、準備することが大切と再考しました。具体的方法が図になって分かり易かったです。
- ・とても分かり易く、場面ごとに応じた様々な対応をご提案頂けたことがとても良かった。
- ・ひきこもりの42歳の息子(医療中断のため年金なし)部屋でゲーム三昧、会話もなかなかできない。このような状況でも親が介護になったときにチャンスという言葉で一筋の光見えました。
- ・なんとなく考えていたことを、具体的によく説明をされ改めて整理ができました。そして今の本人の生活の見直しができました。
- ・これからは社会資源を使用するようにと聞いていたが、具体的には何があるが知りようがなかった。今回、よくわかって参考になりました。
- ・本人と一緒に関係機関に相談に行くということが大切ということを知って考えを切り替えていかなければならないと考えました。

2. 今後知りたいこと

- ・行政サービスの利用の仕方を知りたい。
- ・自分の延命措置とか葬儀の希望とか,明らかにしておいた方がよいとおもった。「エンディングノートと一緒にかきましよう」みたいな企画を考えてみてほしい。
- ・精神疾患に関する様々な勉強会を開催してください。

障害年金相談会・開催のお知らせ

対象の方

- ・障害年金の請求を考えておられる方
- ・以前請求したが不支給になった方
- ・障害年金について聞きたい方

日程； 2024年4月12日(金)

26日(金)

場所； あかね会事務所



※ 相談は無料です、

障害年金専門の社会保険労務士が個別に相談に応じます。

※ 完全予約制です。

ご希望の方は、電話でお申し込みください。

せたがや障害年金センター(電話受付;9:00~18:00)

[TEL:03-6750-2280](tel:03-6750-2280)